

知夫村情報通信利用環境整備推進計画

平成26年1月

知夫村情報通信利用環境整備推進計画策定委員会

目次

| | |
|---|----|
| I. 情報通信利用環境整備の基本方針 | 1 |
| 1-1 計画策定の背景及び目的 | 1 |
| 1-2 計画の位置づけ | 2 |
| II. 住民アンケート | 3 |
| 2-1 アンケート内容 | 3 |
| 2-2 アンケート結果の概要 | 4 |
| III. ICTを利活用したサービス | 6 |
| 3-1 住民の安心・安全、特に高齢者見守り・地域防災・医療福祉に資する公共サービス | 6 |
| 3-2 都市部や近隣自治体と同等の超高速ブロードバンド接続サービス | 8 |
| IV. サービスの基盤となる情報通信利用環境 | 9 |
| 4-1 現状と課題 | 9 |
| 4-2 推奨方式 | 9 |
| V. 各サービスの設置・運営形態 | 10 |
| 5-1 設置形態 | 10 |
| 5-2 運営形態 | 10 |
| VI. 情報通信利用環境整備の概要 | 11 |
| VII. 今後の整備方針 | 12 |
| 7-1 整備の時期 | 12 |
| 7-2 整備費用の確保 | 12 |
| 7-3 概算費用 | 12 |
| 付録 | 13 |

I. 情報通信利用環境整備の基本方針

1-1 計画策定の背景及び目的

知夫村ではこれまで、高速データ通信およびインターネットの利用促進を図っており、平成15年度にはDSL網が全地区で整備され、利用が開始されました。一方、わが国では下り速度が30Mbps以上である超高速ブロードバンド情報通信基盤の整備が急速に進展し、都市部のみならず地方でも、光ファイバによる超高速インターネット接続サービスが一般的になりつつあります。これに対応する形で、提供されるコンテンツやサービスは日々高度化が進み、超高速・大容量の回線を前提としたものが一般的となってきています。知夫村においても、通信速度への不満の声や、超高速ブロードバンド情報通信基盤の整備への要求が高まっています。

超高速ブロードバンドが整備され、情報通信体制が都市部と同等に充実すれば、離島における時間や距離の制約を克服でき、産業、観光、教育、医療・福祉などあらゆる分野でICTの利活用が可能となります。また、村内の情報通信基盤を充実することで、将来的には村内での情報関連業の起業促進にもつながります。

平成22年度に策定された第5次知夫村総合振興計画（平成23年度～平成32年度の10年間の計画）では、4つの基本方針の一つである「安心安全で快適な生活環境づくり」の中の施策の一つとして「情報通信力を充実する」ことが定められました。その中で、「地区におけるDSL網からFTTHへの移行については、今後の需要状況や費用負担を見極めて導入や整備時期を検討する」とされています。

本整備計画はこの第5次知夫村総合振興計画で定められた施策に則り、村内での需要の高まりを受け、ICTを活用した各種のサービス、及び、その基盤となる情報通信利用環境の整備について定めるものです。



1-2 計画の位置づけ

本整備計画は第5次知夫村総合振興計画に示された以下の4つの基本方針に基づいて策定されます。

【基本方針1】自然と調和した活力ある産業づくり

水産業振興に関して「情報通信技術の活用」が重要課題として位置づけられているほか、観光振興に関して「多様なメディアを活用し情報発信していくことが必要」とされています。ICTは地域産業の振興に有効なツールの一つです。

【基本方針2】安心安全で快適な生活環境づくり

「情報通信力を充実する」として情報通信体制の充実、ICTの普及促進、インターネットの活用が基本方針の中の施策の柱と位置づけられています。また、「地域の防災機能を強化する」ための手段としてもICTは有効です。

【基本方針3】豊かな心と人間性を育む人づくり

子どもの教育環境の充実を図る上で「情報教育を通じてメディアリテラシーの向上を図る」ことが必要とされています。安心してインターネットや携帯電話を使用でき、新聞やテレビなど多様なメディアから発信される情報を読み解き活用できるようにすることが欠かせません。

【基本方針4】ふれあいと絆を深める持続可能な地域づくり

「地域の担い手を確保する」ための施策の一つとして、「ICTを活用した離島でも可能な新しいビジネスの形態を模索する」とされています。また、U・Iターンを促進するためには、都市部と同等の情報通信環境が不可欠です。

II. 住民アンケート

計画の策定に資するため、平成 25 年 9 月に村内の全世帯 332 世帯を対象としてアンケート調査が行われ、213 件の回答が寄せられました。回答率は 64.2%、およそ 3 分の 2 の世帯から回答が得られたこととなります。

2-1 アンケートの構成

アンケートは回答者に関する情報、生活全般、情報入手方法、携帯電話、パソコン、インターネット、将来の知夫村に関する以下の 36 の設問から構成されています。下線は多岐選択の設問です。

A. 回答者に関する情報（4問）

1. 性別、2. 年齢、3. 家族構成、4. 仕事

B. 生活全般（2問）

5. 県本土訪問頻度、6. 県本土訪問目的

C. 情報入手方法（3問）

7. 一般の情報の入手方法、8. 村内地域内情報の入手方法、9. 日常的に欲しい村内・地域内情報

D. 携帯電話（7問）

10. 所有の有無

[所有者のみ] 11. つながりやすさ、12. 通話・メールの利用頻度、13. 利用機能

[非所有者のみ] 14. 利用しない理由、15. 今後の所有意向（16. 所有した場合の利用機能）

E. パソコン（6問）

17. 所有の有無

[所有者のみ] 18. 利用頻度、19. 用途

[非所有者のみ] 20. 所有しない理由、21. 今後の所有意向（22. 所有した場合の用途）

F. インターネット（11問）

23. 利用有無

[利用者のみ] 24. 利用機器、25. 利用回線、26. 利用頻度、27. 利用機能、28. 村ホームページ閲覧の有無、29. 村ホームページでよく閲覧する内容、30. 村ホームページ感想

[未利用者のみ] 31. 未利用理由、32. 今後の利用意向（33. 利用した場合の機能）

G. 将来の知夫村（3問）

34. 優先して推進すべき施策、35. 受けたい行政サービス、36. 任意意見

実際のアンケート及び分析の対象とした回答数データは付録として本計画の末尾に添付します。

2-2 アンケート結果概要

(1) 回答者の世代について

- 回答者の 61%が65歳以上の高齢者でした。高齢世代の行政への参画・協力意識が高いことがうかがえます。
- インターネットを最も利用する30代、40代の回答者の割合は14%に止まります。このため、インターネットを利用しない意向がアンケート結果に強く反映されている可能性があります。

(2) 情報入手について

- 一般的な情報の入手手段はテレビ、新聞・雑誌、知人・友人の順でした。知人・友人が上位なのはコミュニティが有効に機能している知夫村ならではの傾向と考えられます。
- 村内の情報の入手手段は回覧板、知人・友人、広報誌の順でした。知人・友人以外では、回覧板、広報誌といった紙媒体による情報が主流です。
- 必要情報は行政情報、防災情報、イベント、医療関連の順で、行政情報のニーズが高いことがわかります。
- ホームページが少ないのは他自治体と同じで一般的な傾向です。地域の情報は広報誌や隣人とのコミュニケーションで得ており、ホームページは村外者向けの役割が大きいものと考えられます。

(3) 携帯電話について

- 携帯電話保有率は90%であり、ほとんどの人が保有しています。未保有者の保有意向は低く、必要性を感じておらず、これ以上の普及は考えにくい状況です。
- 主な用途は通話とメールであり、インターネット利用は24%です。

(4) パソコンについて

- 保有率は45%でした。文書作成、インターネットに利用されています。未保有者の保有意向はそれほど高くありません。

(5) インターネット利用について

- インターネット利用率は 40%、利用機器はパソコンと携帯がおおよそ半々です。
- 情報収集、オンラインショッピング、電子メールに利用されています。
- インターネット未利用者の 3分の 2 (回答者の 40%) がインターネットは必要ないと回答しています。また、インターネット未利用者の 44% (回答者の 26%) がインターネットを利用したくないと回答しています。ただし、ここでの「インターネット」は、操作技能を必要とするパソコンなどを使った能動的情報収集や電子メールによるコミュニケーションを主に指していると考えられます。住民の理解を得るには、具体的なサービス・アプリケーションの提供が欠かせません。
- 村の発展に必要なものは、医療の確保、定住促進・人口増加、産業振興、交通体系の整備との回答が多くありました。教育、IT、環境、企業誘致を必要とする回答は少ない状況です。
- 受けたいサービスは、見守り、防災、救急、健康、電子申請の順です。安心安全、保健医療に関する要望が多い状況です。
- 受けたくないサービスは、登下校、ネット取引、子育て、道路、公共施設予約の順です。これらは知夫村においてはインターネットを利用する必要がないものと考えられます。

(6) 代表的な任意意見

代表的な任意意見は以下の通りです。超高速ブロードバンドの整備を求める意見と、高齢者への配慮を求める意見が多く寄せられました。

- 西ノ島町、海士町と同様の FTTH 整備を求める (7件)
- 高齢者に配慮した ICT であるべき (6件)
- テレビを活用するなど高齢者にもわかりやすく
- 低コスト化を図るべき

Ⅲ. ICT を利活用したサービス

第5次知夫村総合振興計画に示された4つの基本方針及びアンケートによる住民のニーズ等を考慮すると、知夫村におけるICTを利活用したサービスとしては

- ① 住民の安心・安全、特に高齢者見守り・地域防災・医療福祉に資する公共サービス
- ② 都市部や近隣自治体と同等の超高速ブロードバンド接続サービス

の2つが必要不可欠であると考えられます。

3-1 住民の安心・安全、特に高齢者見守り・地域防災・医療福祉に資する公共サービス

知夫村では地域コミュニティが有効に機能しており、人と人のやりとりで多くのことが済んでいます。しかし、ICTを活用することで、遠隔地に瞬時に大容量のデータを伝送でき、人の力だけでは困難なことを実現できるようになります。24時間365日対応可能な見守りサービス、全世帯に向けて一斉かつ瞬時に災害情報を伝達可能なサービス、病院や診療所、役場との高精細なテレビ電話など、ICTを活用したさまざまな公共サービスが住民の安心・安全に寄与します。

具体的には以下のようなサービスが考えられます。

(1) 遠隔健康相談サービス

高画質のテレビ電話で各世帯と診療所や医療機関を結ぶことで健康に関するアドバイスを受けることができるサービスです。バイタルサインの収集と送信を行う機器を組み合わせることもできます。日々の健康管理・健康相談が可能となることにより、慢性期疾患・生活習慣病などをはじめとした病状の悪化防止、健康の改善が期待できます。

サービスの実施にあたっては医療機関等との連携が不可欠ですが、サービスの前提として各世帯と医療機関を映像で結ぶテレビ電話等の仕組みの導入が必要です。

(2) 高齢者見守り支援サービス

高齢者の安全を確保し、緊急時に必要な対応を取るためのサービスです。日常生活の様々な活動を検知するセンサーによるものと、機器の操作により緊急であることを通知したり安否を確認したりするタイプのものがあります。機器の操作によるものでは、専用の機器を各世帯に設置する方法のほか、告知端末に安否確認のメッセージを配信し、確認ボタンを押してもらう方法もあります。

(3) 緊急情報・行政情報告知サービス

災害情報、防災情報などの緊急情報や行政情報を住民宅に設置したIP告知端末等へ文字・映像・音声で配信するサービスです。これにより、災害への迅速な対応が期待できます。役場からのお知らせのほか、各地域の区長からのお知らせを各世帯に送信することもできます。配信した情報を後から再生する仕組みを導入すれば、聞き逃したり見逃したりすることがなくなります。

知夫村では現在、地域情報の無線伝達システムであるエリアトークが整備されており、音声告知端末が各世帯に設置され音声告知サービスが提供されています。しかし、将来システムが老朽化した場合の代替となるサービスが必要です。

(4) IP電話サービス

インターネットで使われている通信の仕組みであるIPを利用して音声通話を実現するサービスです。通信事業者が提供するサービスを利用すれば全国一律の料金体系で電話を利用できます。村がサービスを提供する場合は村内無料電話の実現も可能です。また、映像についてもやりとりできるIPテレビ電話サービスとすることも可能です。この場合、同じIPテレビ電話端末どうし、もしくは互換性のある端末どうしでテレビ電話ができます。

(5) 地上デジタル放送再送信サービス

地上デジタル放送の共同受信を行うサービスです。知夫村内にはアンテナを設置しても地上デジタル放送の視聴ができない世帯が多くあります。このため各地区の共聴組合が共聴設備を設置して地上デジタル放送の共同受信を行っています。知夫村全体で共用できるサービスを行うことで、各地区の共聴組合の負担を軽減できます。

テレビ電話機能を持つIP告知端末を使うことでIP告知サービスとして(1)～(4)を一つのシステムで実現することもできます。



3-2 都市部や近隣自治体と同等の超高速ブロードバンド接続サービス

光ファイバによる情報通信基盤を利用した超高速ブロードバンド接続サービスは、わが国においてはその存在が当然のものとされています。民間、公共を問わず、超高速ブロードバンドを前提としたさまざまなサービスが提供されています。また、超高速ブロードバンド環境は、新たな産業・雇用の送
出、Uターンなどに欠かすことができません。そして何より、将来を担う子どもたちが超高速ブロードバンドに触れることができない知夫村の現状は看過できません。

超高速ブロードバンド接続サービスが提供された後は、住民によるさまざまな利活用はもちろんのこと、村による積極的な活用も欠かせません。具体的には以下のようなサービスが考えられます。

(1) 映像配信サービス

さまざまな映像を村内・村外に配信するサービスです。地域防災に資する公共サービスとして、固定カメラによる港湾やヘリポートの監視サービスがあります。その映像は村内外に広く公開することも可能です。フェリーや内航船の入出港の様子を港に行かなくても見るができるほか、悪天候時に港まで出向かなくても安全に港の様子を確認することができます。赤ハゲ山からの映像を配信することができれば、観光情報としても活用できます。

また、映像に加えて音声も中継できるシステムを導入することにより、村議会を自宅で傍聴できる議会中継サービスを提供できます。村議会で何が審議されているのかを知ることができ、村民が参画できる議会運営を実現できます。

(2) 遠隔教育サービス・在宅学習支援サービス

知夫村内の小中学校と村外の学校等を結んで村外からの遠隔授業を可能とするサービス、および自宅に居ながら知夫村外の授業や講習を受けることができるサービスです。知夫村に来ていただかなくても村外の専門家の授業を受けることができます。また、悪天候で内航船が出航できない場合でも高校の授業を受けることができたり、知夫村外の学習塾の授業を自宅で受けたりすることができます。

(3) 公衆無線 LAN サービス

無線 LAN を内蔵したパソコンやスマートフォンをインターネットに接続することができるサービスです。村内の主要箇所に設置することで地域住民だけでなく観光客などの利便性を向上させることができます。また、災害発生時等の非常時に情報を収集するための手段としての活用もできます。

Ⅳ. サービスの基盤となる情報通信利用環境

「Ⅲ. ICTを利活用したサービス」で挙げた各サービスを提供するためには、その基盤となる情報通信利用環境が不可欠です。ところが、知夫村の現在の情報通信利用環境ではこれらのサービスの提供が困難です。

4-1 現状と課題

知夫村においては平成15年度にDSL網が整備され、ブロードバンドの利用が可能になっています。しかし、距離に応じて速度が低下するというDSLの特性上、NTT局からの距離が遠い世帯では利用できないか、利用できても速度が遅い状況です。村内全世帯で超高速ブロードバンドを利用することはできていません。

また、携帯電話事業者のLTEによるサービスが開始されていますが、上流回線の容量に制限があることや基地局に接続する複数の利用者で回線を共有していることなどから、超高速ブロードバンドと言える速度が出ません。また、携帯電話事業者のサービスは伝送量に制限があり、一定の伝送量を超えると速度が低下するか、料金を追加する必要があります。

これらのことから、ICTを利活用したさまざまなサービスは、現在の知夫村の情報通信利用環境では不可能であると言えます。

4-2 推奨方式

ICTを利活用したサービスを実現するためには、それぞれのサービスに十分な性能・機能等を持つ情報通信利用環境が不可欠です。その情報通信利用環境の方式としては、DSL、FTTH、無線の3つが考えられます。

DSLについてはすでに整備されていますが、前述のように十分なものではありません。無線技術を用いる方法では、見通しがよい場所に送信アンテナを設置する必要があり、遮蔽物等の設置環境に左右されやすいという問題があります。各世帯まで新たな回線を敷設する必要はなく、費用を抑えられる可能性があるものの、全世帯で利用可能とするためには多くの送信アンテナを設置する必要があります。

全世帯で利用できることや各種サービスの自由度の高さ、将来の拡張性を考慮すると、知夫村における情報通信利用環境として使用できる情報通信基盤の整備方式としては、光ファイバによるFTTHが最適です。特に、地上デジタル放送の再送信はDSLや無線など光ファイバ以外の方法では実現できません。

V. 各サービスの設置・運営形態

5-1 設置形態

サービスの設置形態としては知夫村が整備を行う公設方式と、民間事業者が整備を行う民設方式があります。民間事業者が整備を行うためには採算が取れることがその前提となりますが、整備や運用に必要な費用に対して世帯数が少ない知夫村ではいずれのサービスも民間事業者独自による整備は望めません。知夫村が整備を行う公設方式か、民間事業者に補助金を交付して整備を行わせる民設（補助金）方式のいずれかの方法をとる必要があると考えられます。

5-2 運営形態

サービスの運営形態としては、知夫村が運営を行う公営方式と、民間事業者が運営を行う民営方式があります。サービスごとに公営方式、民営方式のどちらかを定める必要があります。

（１）公営方式

サービスに必要な機器の整備、運用管理、維持管理を知夫村が行う方式です。管理費用については原則として知夫村が負担することになりますが、サービスを受ける住民が限定されている場合など、住民に受益者負担を求める場合もあります。実際の管理は知夫村職員が行う方法のほか、業者等への外部委託による方法があります。

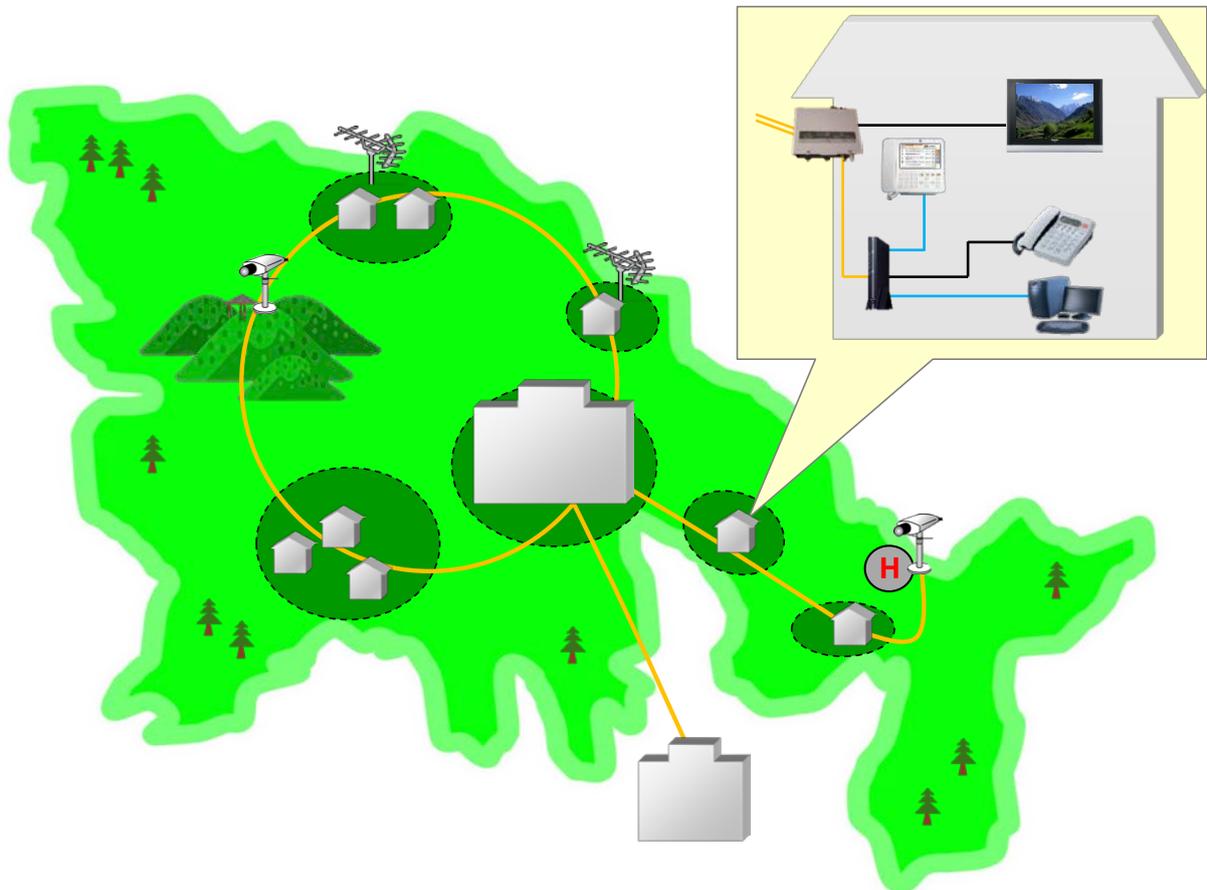
（２）民営方式

サービスの運用管理、維持管理を民間事業者が行う方法です。サービスに必要な機器についても民間事業者が用意する方法（民設）のほか、民間事業者に補助金を交付する方法（民設）と、知夫村が必要な機器等を整備し（公設）、民間事業者に貸し付けてサービスを行わせる方法があります。民間事業者に貸し付ける場合は、長期のIRU契約を行うことが一般的です。補助金を交付する場合は民設民営方式、知夫村が整備を行う場合は公設民営方式となります。

世帯数が少なく民間事業者の参入が難しい知夫村においては、超高速ブロードバンド接続サービスを公設民営IRU方式、その他の公共サービスを公設公営方式で提供する方法が現実的です。

VI. 整備の概要

情報通信利用環境整備のイメージ図を下に示します。



光ファイバによるF T T H網を、島内のすべての世帯（およそ330世帯）を対象として知夫村が整備します（公設）。整備した光ファイバを用いて、超高速ブロードバンド接続サービス、I P告知サービス、I P電話サービス、地上デジタル放送再送信サービス等を実現します（民営または公営）。

公共サービスの提供に必要なサーバ等のシステムは役場内に設置しますが、通信事業者の施設内に設置する場合があります。また、超高速ブロードバンド接続サービスの提供に必要な機器は原則として通信事業者の施設内に設置し、事業者に貸し付けることとなります。

各世帯には光回線終端装置、I P電話アダプタ、I P告知端末などが設置され、各世帯が保有するテレビやパソコンを接続してサービスを利用することとなります。

光ファイバの芯線数や各世帯に設置される装置等については、各サービスの利用料金も含め、整備の具体的な方法について検討を行った後に確定することとなります。

Ⅶ. 今後の整備方針

7-1 整備の時期

各サービスの基盤となる情報通信利用環境については平成26年度に整備を行い、平成27年度から供用を開始する予定とします。

サービスのうち、以下については情報通信利用環境と同時に整備を行うこととし、平成27年度からのサービス開始を目指します。

- IP告知サービス
- IP電話サービス
- 地上デジタル放送再送信サービス

以下のサービスについては、需要状況や費用負担を考慮した上で、平成27年度以降に整備及びサービス開始を検討します。

- 映像配信サービス（防災用監視カメラなど一部は平成26年度整備も検討）
- 遠隔教育・在宅学習支援サービス
- 公衆無線LANサービス

7-2 整備費用の確保

平成26年度に整備を行うものについては、国が設けている情報通信利用環境整備推進交付金事業等を活用します。平成27年度以降に整備を行うものについては、さまざまな国の補助事業の活用を図りつつ、自主財源による整備も検討します。

7-3 概算費用

平成26年度に整備を行うものの事業費の概算は以下の通りです。

| ① 初期費用 | | ② 年間費用 | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 総事業費 | 450,000千円 | 合計 | 21,900千円 |
| 情報通信基盤整備 | 188,000千円 | 情報通信基盤保守 | 4,700千円 |
| 公共サービス | 150,000千円 | 公共サービス保守 | 15,200千円 |
| 地デジ再送信 | 112,000千円 | 地デジ再送信保守 | 2,000千円 |

整備方法や整備内容によって金額は大きく変動しますので、これらの額はあくまで目安です。

付録

- 知夫村地域情報化計画策定に関するアンケート調査票
- 回答数データ

知夫村地域情報化計画策定に関するアンケート調査票

A. 【ご自身のことについて】

Q 1. あなたの性別を教えてください。

- [1] 男性 [2] 女性

Q 2. あなたの年齢を教えてください。

- [1] 19歳以下 [2] 20～29歳 [3] 30～39歳
[4] 40～49歳 [5] 50～59歳 [6] 60～64歳
[7] 65～69歳 [8] 70歳以上

Q 3. あなたの家族の家族構成を教えてください。

- [1] 一人暮らし [2] 夫婦二人暮らし [3] 子どもと同居
[4] 親と同居 [5] 子供・親、孫・子など3世代同居
[6] その他 (_____)

Q 4. あなたのお仕事を教えてください (複数の場合、主となるもの1つ)。

- [1] 会社員・団体職員 [2] 公務員
[3] 農林水産業 [4] 建設業
[5] 商工・自営業 [6] 旅館・民宿・ホテル業
[7] パートタイム・アルバイト [8] 主婦 (専業)
[9] 無職 [10] 学生・生徒
[11] その他 (_____)

B. 【生活全般について】

Q 5. 松江市等の県本土にどの程度の頻度で訪れますか。

- [1] 1週間に1回程度 [3] 2週間に1回程度
[2] 月に1回程度 [4] 2、3か月に1回程度
[5] 半年に1回程度 [6] 1年に1回程度
[7] ほとんど行かない

Q 6. 県本土を訪れる主な目的をお聞かせ下さい (いくつでも選択可)。

- 《 1 》 買い物 《 2 》 通院 《 3 》 知人・親戚を訪問
《 4 》 娯楽 《 5 》 観光 《 6 》 各種の手続き 《 7 》 仕事
《 8 》 その他 (_____)

C. 【情報の入手方法について】

Q 7. 日常生活に関する世間一般の情報（村内の情報を除く）は主にどのような手段で入手されていますか（いくつでも選択可）。

- 《 1 》 地上波・衛星放送・ワンセグなどのテレビ
- 《 2 》 新聞・雑誌
- 《 3 》 AM・FM・短波などのラジオ
- 《 4 》 防災行政無線
- 《 5 》 ホームページ（iモードなど携帯電話によるものを含む）
- 《 6 》 メールマガジンなどの電子メール（携帯電話によるものを含む）
- 《 7 》 電話・携帯電話による通話
- 《 8 》 村の広報誌
- 《 9 》 回覧板
- 《 10 》 公共施設等の掲示板
- 《 11 》 地域の集会
- 《 12 》 知人・友人との会話
- 《 13 》 その他（ _____ ）

Q 8. 村内及び各地域内の情報は主にどのような手段で入手されていますか（いくつでも選択可）。

- 《 1 》 地上波・衛星放送・ワンセグなどのテレビ
- 《 2 》 新聞・雑誌
- 《 3 》 AM・FM・短波などのラジオ
- 《 4 》 防災行政無線
- 《 5 》 ホームページ（iモードなど携帯電話によるものを含む）
- 《 6 》 メールマガジンなどの電子メール（携帯電話によるものを含む）
- 《 7 》 電話・携帯電話による通話
- 《 8 》 村の広報誌
- 《 9 》 回覧板
- 《 10 》 公共施設等の掲示板
- 《 11 》 地域の集会
- 《 12 》 知人・友人との会話
- 《 13 》 その他（ _____ ）

Q 9. 村内及び各地域内のニュースや話題について、日常的にどのような情報がほしいですか（いくつでも選択可）。

- 《 1 》 役場からのお知らせ
- 《 2 》 地域の気象情報
- 《 3 》 地域のイベント・行事
- 《 4 》 地域のニュースや出来事
- 《 5 》 雇用・アルバイト
- 《 6 》 商店・通信販売等の買物情報

- 《 7 》 医療・保健情報 《 8 》 福祉関連情報
 《 9 》 地震・台風等の防災情報 《 10 》 農林水産業に関する情報
 《 11 》 地域の観光情報 《 12 》 議会中継など議会情報
 《 13 》 フェリーの運航状況 《 14 》 生涯学習等の教育情報
 《 15 》 その他 (_____)

D. 【携帯電話について】

Q 10. 携帯電話をお持ちですか。

- [1] 持っている [2] 持っていない

Q 11～Q 13は携帯電話をお持ちの方に伺います。

Q 11. 携帯電話はつながりやすいですか。

- [1] つながりやすい [2] ときどきつながらないことがある
 [3] あまりつながらない [4] つながらない

Q 12. 通話・メール等の利用頻度はどのくらいですか。

- [1] ほぼ毎日 [2] 週に1～2回程度
 [3] 月に1～2回程度 [4] ほとんど使わない
 [5] ここ半年以上使っていない

Q 13. どんな機能を利用していますか。(いくつでも選択可)

- 《 1 》 通話 《 2 》 メール 《 3 》 カメラ
 《 4 》 ワンセグ 《 5 》 インターネット (iモードなど)
 《 6 》 その他 (_____)

Q 14～Q 16は携帯電話をお持ちでない方に伺います。

Q 14. 携帯電話を利用されていないのはなぜですか。(いくつでも選択可)

- 《 1 》 必要ない 《 2 》 料金が低い 《 3 》 使い方がわからない
 《 5 》 通話エリアでない 《 6 》 その他 (_____)

Q 15. 今後、携帯電話を持ちたいと思いますか。

- [1] いずれ持ちたい [2] 今後も持たない [3] わからない

Q 16. Q 15でいずれ持ちたいと回答された方は、どのような機能を使ってみたいですか(いくつでも選択可)。

- 《 1 》 通話 《 2 》 メール 《 3 》 カメラ

- 《 4 》ワンセグ 《 5 》インターネット (iモードなど)
《 6 》その他 (_____)

E. 【パソコンについて】

Q 17. ご自宅にパソコンを所有していますか。

- [1] 所有している [2] 所有していない

Q 18～Q 19はパソコンを所有している方に伺います。

Q 18. 利用頻度はどのくらいですか。

- [1] ほぼ毎日 [2] 週に1～2回程度
[3] 月に1～2回程度 [4] ほとんど使わない
[5] ここ半年以上使っていない

Q 19. どのようなことにパソコンを利用していますか。(いくつでも選択可)

- 《 1 》文書作成 《 2 》住所録などデータの整理
《 3 》葉書、年賀状等作成 《 4 》インターネット
《 5 》メール 《 6 》写真の保存・加工
《 7 》音楽や映像の視聴 《 8 》音楽や映像の編集
《 9 》その他 (_____)

Q 20～Q 21はパソコンを所有していない方に伺います。

Q 20. パソコンを所有されていないのはなぜですか (いくつでも選択可)。

- 《 1 》必要ない 《 2 》価格が高い 《 3 》使い方がわからない
《 4 》その他 (_____)

Q 21. 今後、パソコンを持ちたいと思いますか。

- [1] いずれ持ちたい [2] 今後も持たない [3] わからない

Q 22. Q 21でいずれ持ちたいと回答された方は、どのようなことに利用してみたいですか (いくつでも選択可)。

- 《 1 》文書作成 《 2 》住所録などデータの整理
《 3 》葉書、年賀状等作成 《 4 》インターネット
《 5 》メール 《 6 》写真の保存・加工
《 7 》音楽や映像の視聴 《 8 》音楽や映像の編集
《 9 》その他 (_____)

F. 【インターネットについて】

Q 2 3. パソコンまたは携帯電話などでインターネット（ホームページ、メールなど）を利用していますか？

- [1] 利用している [2] 利用していない

Q 2 4～Q 3 0はインターネットを利用している方に伺います。

Q 2 4. インターネット（ホームページ、メールなど）を利用している機器は何ですか（いくつでも選択可）。

- 《 1 》パソコン 《 2 》携帯電話
《 3 》ゲーム機 《 4 》インターネット接続機能付きテレビ
《 5 》その他（_____）

Q 2 5. Q 2 4でパソコンと回答された方は、利用している通信回線は何ですか。

- [1] アナログ電話回線 [2] ISDN回線
[3] 携帯電話回線 [4] 衛星インターネット
[5] その他（_____）

Q 2 6. インターネットの利用頻度はどのくらいですか。

- [1] ほぼ毎日 [2] 週に1～2回程度
[3] 月に1～2回程度 [4] ほとんど使わない
[5] ここ半年以上使っていない

Q 2 7. どのようなことにインターネットを利用していますか（いくつでも選択可）。

- 《 1 》電子メール 《 2 》テレビ電話
《 3 》情報収集 《 4 》情報発信（ブログ・Twitter など）
《 5 》オンラインショッピング 《 6 》飛行機・ホテルなどの予約
《 7 》オンラインバンキング 《 8 》映画・音楽の視聴・ダウンロード
《 9 》株取引 《 10 》オンラインゲーム
《 11 》行政情報の収集 《 12 》行政への電子申請・申告
《 13 》その他（_____）

Q 2 8. 知夫村のホームページをインターネットで閲覧したことがありますか。

- [1] 頻繁に閲覧する [2] ときどき閲覧する
[3] ごくたまに閲覧する [4] 見たことがない

Q 2 9. 閲覧したことがある方は、どのような内容をよく閲覧しますか（いくつでも選択可）。

- | | | |
|---------------------|--------------|--------------|
| 《 1 》暮らし・環境 | 《 2 》健康・福祉 | 《 3 》教育文化 |
| 《 4 》広報 | 《 5 》村の紹介 | 《 6 》村役場の案内 |
| 《 7 》行政情報 | 《 8 》様式・申請書 | 《 9 》リンク集 |
| 《 10 》各種統計資料 | 《 11 》産業振興 | 《 12 》環境 |
| 《 13 》リンク集 | 《 14 》イベント体験 | 《 15 》村の文化財 |
| 《 16 》宿泊施設 | 《 17 》行事予定 | 《 18 》アクセス方法 |
| 《 19 》観光マップ | 《 20 》お役立て情報 | |
| 《 21 》その他 (_____) | | |

Q30. 閲覧したことがある方は、どのような感想をお持ちですか
(いくつでも選択可)。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 《 1 》文字が小さくて見にくい | 《 2 》レイアウトデザインが悪い |
| 《 3 》必要な情報が探しにくい | 《 4 》必要な行政情報が不足している |
| 《 5 》内容が充実している | 《 6 》レイアウトデザインが良い |
| 《 7 》必要な情報が探しやすい | |
| 《 8 》その他 (_____) | |

Q31～Q33はインターネットを利用していない方へお伺いします。

Q31. インターネットを利用されていない主な理由は何ですか(いくつでも選択可)。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 《 1 》必要がない | 《 2 》料金が高い |
| 《 3 》使い方がよくわからない | 《 4 》犯罪・トラブルが心配 |
| 《 5 》ウイルス感染・個人情報漏洩が心配 | |
| 《 6 》その他 (_____) | |

Q32. 今後、インターネットを利用したいと思いますか。

- | | |
|---------------|-------------------|
| [1] 利用したい | [2] 利用したいが迷っている |
| [3] 利用したくない | [4] よくわからない |

Q33. Q32で「利用したい」と答えた方は、どのようなことにインターネットを利用してみたいですか(いくつでも選択可)。

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 《 1 》電子メール | 《 2 》テレビ電話 |
| 《 3 》情報収集 | 《 4 》情報発信(ブログ・Twitterなど) |
| 《 5 》オンラインショッピング | 《 6 》飛行機・ホテルなどの予約 |
| 《 7 》オンラインバンキング | 《 8 》映画・音楽の視聴・ダウンロード |
| 《 9 》株取引 | 《 10 》オンラインゲーム |
| 《 11 》行政情報の収集 | 《 12 》行政への電子申請・申告 |
| 《 13 》その他 (_____) | |

G.【将来の知夫村について】

Q 3 4. 将来の地域の発展のために、どのようなことを優先して推進すべきだと思いますか（いくつでも選択可）。

- 《 1 》 交通体系（航路・航空路・港湾・島内道路）の整備
- 《 2 》 情報通信網の利活用
- 《 3 》 産業（畜産・農業・林業・水産業）の振興
- 《 4 》 企業誘致
- 《 5 》 観光の振興
- 《 6 》 医療の確保
- 《 7 》 生活環境の整備（簡易水道・ゴミ処理・し尿処理）
- 《 8 》 高齢者その他の福祉
- 《 9 》 定住促進・人口増加
- 《 10 》 子育て支援
- 《 11 》 地域コミュニティづくり
- 《 12 》 学校教育の充実
- 《 13 》 生涯学習の充実
- 《 14 》 伝統文化・芸能の保護
- 《 15 》 国内外との交流
- 《 16 》 防災対策の充実
- 《 17 》 村の財政健全化
- 《 18 》 情報公開の促進
- 《 19 》 その他（ _____ ）

Q 3 5. インターネットを使った行政サービスとして、今後どのようなものを受けたいですか（いくつでも選択可）。

- 《 1 》 自宅で医師の診断や健康管理ができるサービス
- 《 2 》 急病等、緊急時において自宅にて応急措置情報を直接得られるサービス
- 《 3 》 地域内の診療所、福祉関連施設の詳細な情報を得られるサービス
- 《 4 》 自宅や外出先から簡単に診療所、福祉関連施設の予約ができるサービス
- 《 5 》 自宅や外出先から子供たちの登下校の安全確認ができるサービス
- 《 6 》 独居老人などの安心安全を見守るサービス
- 《 7 》 子育て支援情報提供サービス
- 《 8 》 自宅で、様々な講座や講演会などの生涯学習を受けられるサービス
- 《 9 》 迅速な災害情報、避難情報の提供サービス
- 《 10 》 村の様々な施策を、簡単に検索・閲覧することができるサービス
- 《 11 》 村議会の中継サービス
- 《 12 》 自宅や外出先から簡単に公共施設の予約ができるサービス
- 《 13 》 自宅や外出先から住民票や印鑑証明などの証明申請ができるサービス

回答者の傾向

Q1.性別

| | |
|----|-----|
| 男性 | 111 |
| 女性 | 97 |

Q2.年齢

| | |
|--------|----|
| 19歳以下 | 0 |
| 20～29歳 | 4 |
| 30～39歳 | 14 |
| 40～49歳 | 15 |
| 50～59歳 | 28 |
| 60～64歳 | 23 |
| 65～69歳 | 40 |
| 70歳以上 | 87 |

Q3.家族構成

| | |
|---------|----|
| 一人暮らし | 84 |
| 夫婦二人暮らし | 85 |
| 子どもと同居 | 25 |
| 親と同居 | 10 |
| 3世代同居 | 4 |
| その他 | 2 |

Q4.お仕事

| | |
|---------|----|
| 会社員 | 20 |
| 公務員 | 18 |
| 農林水産業 | 32 |
| 建設業 | 1 |
| 商工・自営業 | 14 |
| 旅館・ホテル等 | 1 |
| アルバイト | 17 |
| 主婦 | 18 |
| 無職 | 84 |
| 学生 | 3 |
| その他 | 0 |

Q5.松江へ行く頻度

| | |
|-----------|----|
| 1週間に1回 | 0 |
| 2週間に1回 | 0 |
| 月に1回 | 38 |
| 2..3ヶ月に1回 | 60 |
| 半年に1回 | 45 |
| 1年に1回 | 30 |
| ほとんど行かない | 34 |

Q6.県本土を訪れる目的

| | |
|----------|----|
| 買い物 | 72 |
| 通院 | 82 |
| 知人・親戚を訪問 | 61 |
| 娯楽 | 46 |
| 観光 | 9 |
| 各種の手続き | 7 |
| 仕事 | 38 |
| その他 | 4 |

(複数回答 回答数181)

(介護)

情報の入手手段について

Q7.世間一般の情報の入手手段

| | |
|-----------|-----|
| テレビ | 158 |
| 新聞・雑誌 | 129 |
| ラジオ | 27 |
| 防災行政無線 | 22 |
| ホームページ | 48 |
| 電子メール | 22 |
| 電話 | 66 |
| 村の広報誌 | 74 |
| 回覧板 | 98 |
| 公共施設の掲示板 | 4 |
| 地域の集会 | 43 |
| 知人・友人との会話 | 124 |
| その他 | 1 |

(複数回答 回答数208)

Q8.村内の情報の入手手段

| | |
|-----------|-----|
| テレビ | 43 |
| 新聞・雑誌 | 41 |
| ラジオ | 7 |
| 防災行政無線 | 49 |
| ホームページ | 3 |
| 電子メール | 3 |
| 電話 | 58 |
| 村の広報誌 | 140 |
| 回覧板 | 159 |
| 公共施設の掲示板 | 28 |
| 地域の集会 | 60 |
| 知人・友人との会話 | 153 |
| その他 | 1 |

(複数回答 回答数203)

Q9.日常的に欲しい情報

| | |
|-----------|-----|
| 役場からのお知らせ | 148 |
| 気象 | 70 |
| イベント・行事 | 88 |
| ニュースや出来事 | 104 |
| 雇用 | 24 |
| 買い物 | 29 |
| 医療・保険 | 101 |
| 福祉関連 | 49 |
| 防災 | 105 |
| 農林水産 | 33 |
| 観光 | 17 |
| 議会 | 42 |
| フェリーの運航 | 90 |
| 教育 | 26 |
| その他 | 1 |

(複数回答 回答数197)

携帯電話について

Q10.携帯電話を持っているか

| | |
|--------|-----|
| 持っている | 187 |
| 持っていない | 21 |

持っている人に対して

Q11.繋がりやすいか

| | |
|-----------|-----|
| 繋がりやすい | 142 |
| ときどき繋がらない | 38 |
| あまり繋がらない | 6 |
| 繋がらない | 1 |

Q12.通話・メールの頻度

| | |
|------------|-----|
| ほぼ毎日 | 123 |
| 週に1~2回 | 38 |
| 月に1~2回 | 10 |
| ほとんど使わない | 14 |
| 半年以上使っていない | 1 |

Q13.利用している機能

| | |
|---------|-----|
| 通話 | 174 |
| メール | 125 |
| カメラ | 72 |
| ワンセグ | 5 |
| インターネット | 45 |
| その他 | 0 |

(複数回答 回答数184)

持っていない人に対して

Q14.利用しない理由

| | |
|-----------|----|
| 必要ない | 14 |
| 料金が高い | 2 |
| 使い方が分からない | 3 |
| 通話エリアでない | 0 |
| その他 | 0 |

(複数回答 回答数18)

Q15.今後、携帯電話を持ちたいか

| | |
|---------|----|
| いずれ持ちたい | 2 |
| 今後も持たない | 11 |
| 分からない | 7 |

Q16.今後持つとしたら

どのような機能を使いたいか

| | |
|---------|---|
| 通話 | 3 |
| メール | 1 |
| カメラ | 1 |
| ワンセグ | 0 |
| インターネット | 0 |
| その他 | 0 |

(複数回答 回答数3)

パソコンについて

Q17.自宅にパソコンを所有しているか

| | |
|---------|-----|
| 所有している | 89 |
| 所有していない | 108 |

持っている人に対して

Q18.利用頻度

| | |
|------------|----|
| ほぼ毎日 | 40 |
| 週に1~2回 | 17 |
| 月に1~2回 | 9 |
| ほとんど使わない | 18 |
| 半年以上使っていない | 6 |

持っていない人に対して

Q20.持っていない理由

| | |
|-----------|----|
| 必要ない | 70 |
| 価格が高い | 9 |
| 使い方が分からない | 29 |
| その他 | 8 |

(複数回答 回答数96)

Q19.どのようなことに使っているか

| | |
|----------|----|
| 文書作成 | 55 |
| データの整理 | 34 |
| はがき・年賀状等 | 46 |
| インターネット | 55 |
| メール | 35 |
| 写真の保存・加工 | 34 |
| 音楽や映像の視聴 | 26 |
| 音楽や映像の編集 | 0 |
| その他 | 1 |

(複数回答 回答数84)

Q21.今後、パソコンを持ちたいか

| | |
|---------|----|
| いずれ持ちたい | 18 |
| 今後も持たない | 57 |
| 分からない | 26 |

Q22.今後持つとしたら

どのようなことに使いたいのか

| | |
|----------|----|
| 文書作成 | 14 |
| データの整理 | 8 |
| はがき・年賀状等 | 10 |
| インターネット | 11 |
| メール | 7 |
| 写真の保存・加工 | 6 |
| 音楽や映像の視聴 | 3 |
| 音楽や映像の編集 | 1 |
| その他 | 0 |

(複数回答 回答数19)

インターネットについて

Q23. インターネットを利用しているか

| | |
|---------|-----|
| 利用している | 82 |
| 利用していない | 122 |

インターネットを利用している人に対して

Q24. 利用している機器

| | |
|-----------|----|
| パソコン | 57 |
| 携帯電話 | 57 |
| ゲーム機 | 4 |
| 接続機能付きテレビ | 0 |
| その他 | 1 |

(複数回答 回答数81)

Q25. 利用している回線

| | |
|-----------|----|
| アナログ電話回線 | 12 |
| ISDN回線 | 18 |
| 携帯電話回線 | 18 |
| 衛星インターネット | 1 |
| その他 | 7 |

(複数回答 回答数52)

(注: 質問の際に、誤ってASDLの項目を付けていなかった)

(アナログ電話やISDNの項目にチェックした人の多くは

実際にはASDL回線と思われる)

Q26. 利用頻度

| | |
|------------|----|
| ほぼ毎日 | 49 |
| 週に1~2回 | 21 |
| 月に1~2回 | 2 |
| ほとんど使わない | 3 |
| 半年以上使っていない | 1 |

Q27. どんなことに利用しているか

| | |
|-------------|----|
| 電子メール | 51 |
| テレビ電話 | 8 |
| 情報収集 | 63 |
| 情報発信 | 18 |
| オンラインショッピング | 55 |
| ホテルなどの予約 | 27 |
| オンラインバンキング | 15 |
| 映画・音楽の視聴 | 25 |
| 株取引 | 0 |
| オンラインゲーム | 6 |
| 行政情報の収集 | 11 |
| 電子申請 | 3 |
| その他 | 1 |

(複数回答 回答数78)

Q28.知夫村のHPを見たことがあるか Q30.知夫村のHPを見ての感想

| | |
|-----------|----|
| 頻繁に閲覧する | 1 |
| ときどき閲覧する | 16 |
| ごくたまに閲覧する | 44 |
| 見たことがない | 21 |

| | |
|--------------|----|
| 文字が小さくて見にくい | 5 |
| レイアウトデザインが悪い | 7 |
| 必要な情報が探しにくい | 10 |
| 必要な行政情報が不足 | 32 |
| 内容が充実している | 3 |
| レイアウトデザインが良い | 2 |
| 必要な情報が探しやすい | 2 |
| その他 | 6 |

(複数回答 回答数48)

Q29.知夫村のHPでよく見る項目

| | |
|--------|----|
| 暮らし・環境 | 16 |
| 健康・福祉 | 7 |
| 教育文化 | 4 |
| 広報 | 21 |
| 村の紹介 | 25 |
| 村役場の案内 | 9 |
| 行政情報 | 17 |
| 様式・申請書 | 2 |
| リンク集 | 8 |
| 各種統計資料 | 3 |
| 産業振興 | 5 |
| 環境 | 0 |
| イベント体験 | 4 |
| 村の文化財 | 4 |
| 宿泊施設 | 5 |
| 行事予定 | 14 |
| アクセス方法 | 3 |
| 観光マップ | 8 |
| お役立ち情報 | 1 |
| その他 | 0 |

(複数回答 回答数56)

インターネットを利用していない人に対して

Q31.利用していない理由

| | |
|-------------|----|
| 必要がない | 65 |
| 料金が高い | 13 |
| 使い方がよく分からない | 43 |
| 犯罪・トラブルが心配 | 17 |
| ウイルス感染等が心配 | 16 |
| その他 | 1 |

(複数回答 回答数98)

Q32.今後、インターネットを利用したいか

| | |
|-------------|----|
| 利用したい | 14 |
| 利用したいが迷っている | 14 |
| 利用したくない | 44 |
| わからない | 29 |

Q33.どのようなことに利用したいか

| | |
|-------------|----|
| 電子メール | 5 |
| テレビ電話 | 2 |
| 情報収集 | 11 |
| 情報発信 | 4 |
| オンラインショッピング | 5 |
| ホテルなどの予約 | 7 |
| オンラインバンキング | 0 |
| 映画・音楽の視聴 | 3 |
| 株取引 | 0 |
| オンラインゲーム | 0 |
| 行政情報の収集 | 5 |
| 電子申請 | 1 |
| その他 | 0 |

(複数回答 回答数14)

将来の知夫村について

Q34. 将来の地域の発展のために
どのようなことを優先すべきか

| | |
|-------------|-----|
| 交通体系の整備 | 87 |
| 情報通信網の利活用 | 45 |
| 産業の振興 | 101 |
| 企業誘致 | 33 |
| 観光の振興 | 59 |
| 医療の確保 | 126 |
| 生活環境の整備 | 41 |
| 高齢者その他の福祉 | 99 |
| 定住促進・人口増加 | 104 |
| 子育て支援 | 50 |
| 地域コミュニティづくり | 35 |
| 学校教育の充実 | 36 |
| 生涯学習の充実 | 25 |
| 伝統文化・芸能の保護 | 48 |
| 国内外との交流 | 15 |
| 防災対策の充実 | 52 |
| 村の財政健全化 | 64 |
| 情報公開の促進 | 38 |
| その他 | 8 |

(複数回答 回答数184)

Q35. インターネットを使ったサービスで
今後どのようなものを受けたいか

| | |
|----------------------------------|----|
| 自宅で医師の診断や健康管理ができるサービス | 56 |
| 急病等、緊急時において自宅にて応急処置情報を直接得られるサービス | 62 |
| 地域内の診療所、福祉関連施設の詳細な情報を得られるサービス | 42 |
| 自宅や外出先から簡単に診療所、福祉関連施設の予約ができるサービス | 45 |
| 自宅や外出先から子供たちの登下校の安全確認ができるサービス | 8 |
| 独居老人などの安心安全を見守るサービス | 85 |
| 子育て支援情報提供サービス | 21 |
| 自宅で、様々な講座や講演会などの生涯学習を受けられるサービス | 23 |
| 迅速な災害情報、避難情報の提供サービス | 65 |
| 村の様々な施策を、簡単に検索・閲覧することができるサービス | 39 |
| 村議会の中継サービス | 44 |
| 自宅や外出先から簡単に公共施設の予約ができるサービス | 16 |
| 自宅や外出先から住民票や印鑑証明などの証明申請ができるサービス | 55 |
| 地元特産品を効果的に市場にセールスすることができるサービス | 37 |
| ネット取引を行うことができる仕組みを提供してくれるサービス | 14 |
| 自宅や外出先から買い物情報を確認、注文（宅配）できるサービス | 34 |
| 道路工事個所等、地域内の交通規制情報提供サービス | 21 |
| 村営船など交通機関の運行情報提供サービス | 38 |
| 遠く離れた家族、友人等と簡単にコミュニケーションが図れるサービス | 33 |
| 地域内で行うイベント情報提供サービス | 27 |
| 各種団体間の連絡、情報共有などを簡単に行えるサービス | 19 |
| その他 | 3 |

(複数回答 回答数144)

知夫村情報通信利用環境整備推進計画策定委員会

知夫村役場

崎慎吾

高田英治

福山直人

手銭俊夫

野田浩正

西谷太介

内本良平

田上俊

渡辺智彦

中浦哲郎

アイコミュニケーション

目次真司

佐野輝利

赤坂博寿

岡本恵司

総務省ICT地域マネージャー

升屋正人（鹿児島大学）

オブザーバー

山崎雅則（島根県情報政策課）

西川恵子（島根県情報政策課）

植田智則（島根県隠岐支庁）

山野敏秀（海士町）